高齢者福祉施設等及び温浴施設の今後のあり方について

長寿の郷ロクハ荘となごみの郷は、県からの移管や建設から２０年余り、高齢者を取り巻く社会的環境の変化を背景に、外出促進、交流機会の創出、生きがいづくりなどの高齢者の活動拠点として、より一層役割を果たすことが求められています。

高齢者福祉施設等全体のあり方の検討とともに、特に温浴施設機能について、「高齢者福祉施設等基礎調査」および「高齢者福祉施設等の温浴施設整備検討業務」の２つの調査、また、市議会、附属機関「あんしんいきいきプラン委員会」での意見を踏まえ検討を行いました。

◆温浴施設のあり方について

施設利用者の半数近くが温浴施設を目的に来館されており、アンケート調査においても、現状維持を求める意見が多くありました。

また、施設の整備検討業務の結果から、施設は適切に管理できており、今後も計画的な維持修繕を実施することで、当面は有効活用することができる見込みです。

温浴施設は集客力が高く、高齢者の外出・交流や健康づくりへの動機付けとなっているという強みを活かし、介護予防や健康づくりをより一層進めるために、温浴施設は継続し有効的な活用を図ります。

◆高齢者福祉施設等のあり方について

長寿の郷ロクハ荘となごみの郷は、高齢者の活動拠点として、市民の主体的な参加・参画に基づいた、人と人との出会い・つながりや健幸づくりを意識した事業の展開を図ることで、多世代交流、生きがいづくりや介護予防を目指したさらなる取り組みを進めます。

資料4－2

目指す方向性

生きがいづくりや社会参加の促進など一層の健幸づくりに向けた多世代交流機能・健康増進機能・介護予防機能を兼ね備えた拠点

今後の充実すべき事業展開

市民の主体的な参加・参画に基づいた、人と人との出会い・つながりや健幸づくりを意識した事業の展開を図る。

1．高齢者の外出の機会が創出される

出かける！

- 両館の個性を活かしたコンセプト（なごみの郷は多世代交流、ロクハ荘は仲間づくり等）のＰＲや、様々な媒体を活用した広報活動、看板等の設置など広報の充実
- ・巡回バスの有効活用
- ・ロクハ公園との連携事業の充実

2．高齢者の社会参加の場を提供する

輝く！

- 「ボランティア隊」等を立ち上げ、豊富な経験を活かした利用者による企画事業
- ・地域のボランティアや担い手育成、市民活動の発信の場

3．仲間づくりの輪を広げる

出会う！

- ・手作り市等の定期開催により、同好会やサークル活動を発揮できる機会の提供。サークル等の横のつながりへの拡大。

4．多世代の交流が深まる

つながる！

- ・高齢者が今まで培ってきた知識や経験を活かした子ども向け事業の展開
- ・年齢に関係なく一緒に楽しむことができる文化・スポーツの実施

5．自らの健康づくりや介護予防が続けられる

健康！

- ・元気な高齢者に向けた健康づくり講座の定期的な開催
- ・温浴施設とその他の介護予防講座・イベントを連動させた事業の展開
- フレイル※予防の講座開催や個人へのアプローチ
- ・健康に配慮したレストランメニューの提供
- 介護予防や健康増進にかかる情報の発信拠点
- 認知症予防講座の開催

※**フレイル**　高齢者の身体機能や認知機能が低下して虚弱になった状態です。適切な介入・支援により要介護状態への移行を減らせる可能性があります。

重点的に取り組む事業